

平成24年度 大野南地区地域活性化事業交付金 交付決定事業の概要と評価

1

申請事業名	インターネット番組の制作及び番組の配信事業
申請団体	さがつく！プロジェクト
事業目的	相模大野を中心とした情報を発信することでまちの魅力づくりに貢献し、市民にまちを再認識してもらい、番組と視聴者の情報のやり取りなど新しい情報発信の形を目指す。
交付決定日	平成24年6月5日
交付決定額 (事業費)	400,000円(決算837,338円)
団体実績報告	<ul style="list-style-type: none"> ・番組の配信(H24/4/1~H25/3/1、2回/月) 相模大野の店舗を取り上げた番組企画を実施。
市評価	<p>放送回数の変更、情報の量・内容の充実などにより各回放送のアクセス数が前年度と比較して増加している。</p> <p>事業実績にあるとおり、大野南地区を中心とした地域の様々な情報の収集・発信を通じて、地域での団体及び番組の存在を確立するとともに、地区の団体間の新たな結びつきに寄与している。</p> <p>今後の街頭口ケを中心とした取り組みに期待するとともに、さらに番組のアクセス数が増加し、番組及び地区で行われるイベントをはじめとした様々な活動が広く認知されることを期待する。</p>
備考	

申請事業名	地域情報紙発行事業
申請団体	ここずっと
事業目的	市民が発する情報を紙媒体で発行することによる地域コミュニティの再構築と活性化。自治会などの市民活動団体との連携による地域コミュニティの創出。
交付決定日	平成24年6月5日
交付決定額 (事業費)	400,000円(決算433,712円)
団体実績報告	<p>地域情報紙「ここずたうん」の発行(各号10,000部)。 【1号(7月1日号)】まちの再発見。「み~つけたうん特集 このまちのすてきスポット MAP」「ここみせ」で、女子大通り商店街、相模大野北口商店会を取材。 【2号(10月1日号)】子どもたちにとってのまちを考える。高校生記者による取材(「高校生にききました」「ここみせ」)記事。自治会連合会、御園二丁目自治会に取材。「み~つけタウン」にて大野南こどもセンターに取材。 【3号(1月1日号)】まちの安全・安心をさぐる。消防団取材と防災訓練記事。紙上カフェは「いちばんほしいものは?」から、時間の象徴としてグリーンホールのからくり時計を紹介。キーパーソンとなる大野銀座商店街・ファゴット店主塚本氏を取材。「ぴあ・さぼ」に視覚障害者の視点からノート記事。 【4号(4月1日号)】再開発で誕生したユニコムプラザさがみはらを紹介。市民の向学心を探る「いま習い事したいことは?」特集。「こことも」で団体紹介。「ぴあ・さぼ」にて障害をもつ視点からノート。自治会組織率をテーマに取材記事掲載。</p>
市 評 価	<p>自らが取材をし、市民目線で情報紙を編集・発行する取り組みは、地域(活動)の情報発信及び広報による地域活性化に効果的な事業となっている。</p> <p>今後は、読者の地域活動への参加を促す紙面づくりを期待したい。</p>
備 考	

申請事業名	境川の道正山河畔林整備事業
申請団体	境川の道正山河畔林を守る会
事業目的	境川の道正山河畔林を緑豊かな自然林に戻し、次世代に引き継ぐ。
交付決定日	平成24年8月10日
交付決定額 (事業費)	45,000円(決算45,562円)
団体実績報告	<ul style="list-style-type: none"> ・道正山河畔林での作業(通年) 清掃・植栽管理 植物の保全・育成(ニリンソウ・ウバユリなど) ・境川クリーンアップ作戦への参加 全7会場のうち、1本桜会場を担当し、桜美林大学生(100名) と清掃活動を実施(7月) ・境川水質調査(6月・1月) ・境川水質調査学生体験(2月) ・道正山だよりの発行(6月・12月) ・会員の増加(51名 54名)
市 評 価	<p>荒れた道正山斜面を整備し、緑豊かな自然林に戻し、次世代に引き継ごうとする会の活動は、地域の環境美化、住民の環境保全意識を高めるために効果的な事業となっている。平成24年度は上鶴間高校の生徒及び教諭との水質調査を実施するなど、新たな地域団体との連携強化を図っており、今後は自治会との連携による活動を予定している。今後の会の活動に期待したい。</p>
備 考	

申請事業名	みなみシティガイドボランティア養成事業
申請団体	相武歴史研究会
事業目的	シティガイドボランティアの育成・情報発信により、多くの市民に地域の歴史や文化・観光資源を知っていただくことにより地域の魅力を再発見し、愛着を持ってもらう。
交付決定日	平成24年8月10日
交付決定額 (事業費)	90,000円(決算90,449円)
団体実績報告	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の魅力を文化財探訪という形で掘り起し、各地域の特色を示す6つの探訪コースを設定し、それぞれガイドマップを作成した。 ・ガイドマップの作成を通して、地域の魅力を市民に伝える人材の育成ができた。
市評価	<p>人材が不足しているといわれている中で、住民が地域の歴史・文化・観光資源を知り、後世に伝えていくガイドボランティアの養成は重要であり、3年間に渡る支援を行ってきた。事業実績にもあるとおり、ガイドボランティアの育成については一定の成果があったが、それらを活用したガイドツアーの実施まで至らなかったことは非常に残念である。</p> <p>3年間の取り組みを生かした地域での今後の活動に期待したい。</p>
備考	

申請事業名	第3回相模大野かぼちゃまつり
申請団体	相模大野かぼちゃまつり実行委員会
事業目的	「相模大野ハロウィンフェスティバル」とのコラボレーションにより、子どもから大人まで世代を超えて楽しい思い出がつけられるような市民参加型の体験イベントの実施により、活気あるまちづくりの一助となる。
交付決定日	平成24年8月10日
交付決定額 (事業費)	300,000円(決算1,867,976円)
団体実績報告	<p>名称：第3回相模大野かぼちゃまつり 開催日時：平成24年10月21日(日) 開催場所：相模大野中央公園 内容：子供達によるステージパフォーマンス、子供達による仮装コンテスト、地元中心の飲食ブース、フリーマーケット、子供スポーツ体験、消防署からの防災啓発、 来場者数：約24,000名</p>
市評価	<p>昨年度の第2回に続き、地域の青少年や商業者、企業などを巻き込んだ地域密着型イベントとして、大野南地区の風物詩となりつつある。来場者数も昨年比増となっており、地域の多世代交流や大野南地区の魅力づくりに大きく貢献したものと評価される。</p> <p>引き続き事業の持続性を担保すべく自主財源確保に努められたい。</p>
備考	

申請事業名	大野南地区防災ガイド&マップ
申請団体	大野南地区自治会連合会
事業目的	<p>地区の住民が必要な情報が掲載されている防災ガイド&マップを作成し、全世帯に配布することで、地区の地域防災力の向上を図る。</p> <p>防災ガイド&マップには平常時及び災害時の自治会の取り組みを掲載し、自治会の活動やその重要性を周知することにより自治会加入促進を図る。</p>
交付決定日	平成25年2月4日
交付決定額 (事業費)	779,000円(決算1,560,000円)
団体実績報告	<ul style="list-style-type: none"> ・大野南地区防災ガイド&マップの作成(A1判 カラー印刷 40,000部) ・自治会による全世帯配布
市評価	<p>地域の防災力の向上、自治会加入促進に資する事業であり、地域の重要課題に取り組む事業である。</p> <p>住民の防災に対する意識の高揚が図られるとともに、多くの住民が自治会に加入されることを期待する。</p>
備考	

申請事業名	消防団活動活性化地域啓発事業
申請団体	相模原市消防団南方面隊第三分団
事業目的	広く消防団活動の広報を行い、活動への理解を深め、団員募集をはかり、地域と連携し、より実効性の高い防災活動を行うこと。
交付決定日	平成25年2月4日
交付決定額 (事業費)	471,000円(決算471,000円)
団体実績報告	<ul style="list-style-type: none"> ・ポスター200枚、チラシ5,000部、のぼり旗(赤地・黄色地2種60本ずつ)120本を作成し、各部での掲示・配布等により、地域防災啓発活動と消防団活動への理解を深めるための広報活動をおこなった。 ・チラシ・ポスターの自治会等への回覧依頼を行っているところである。
市評価	<p>消防団員の高齢化や担い手不足などの課題に対し、地域特性を踏まえ、住民の視点に立った分かりやすいチラシ・ポスターを作成した団員募集の取り組みは新たな団員の獲得に期待の持てるものである。</p> <p>あわせて、今後も継続的な取り組みを期待したい。</p>
備考	